

令和2年度 第2回磐田市健康づくり推進協議会次第

令和3年3月18日（木）午後1時30分～

磐田市役所西庁舎3階 302・303会議室

1. 開 会
2. 部長挨拶
3. 会長挨拶
4. 議事・協議
 - (1) 健幸いわた21
令和2年度の保健事業の取り組みと令和3年度の計画
 - (2) 意見交換
5. 連絡事項等
6. 閉 会

健幸いわた21重点課題 令和2年度の取り組みと令和3年度の計画

◎目標達成・○中間評価より改善・▲中間評価より悪化

健康寿命の延伸	令和2年度の取り組み	令和3年度の計画	健幸いわた21目標(一部抜粋)	中間評価(H28)	進捗(R1)	目標(R5)	評価																
保健事業と介護予防の一体化(参考資料1・2)	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断・医療受診のデータの分析を行い、磐田市の現状と課題の把握を行った。(資料右下参照) 高血圧・糖尿病や低栄養の重症化予防のため、保健師・栄養士による個別訪問を行った。(2月末時点330件介入) フレイル予防などについての普及啓発をいきいき百歳体操実施団体へ行った。(2月末延72か所、1,100人)また、リーフレットを作成、配布した。 認知症予防として、「しゃきしゃき百歳体操」を製作して啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険データも含めた分析を行い、磐田市の健康課題の把握を行う。 把握された健康課題から、個別指導による健康支援を行う。 いきいき百歳体操実施団体や高齢者サロン、シニアクラブ等、高齢者の活動の場となる団体に対し、フレイル予防の普及啓発を行う。 	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	(H27) 男79.6% 女40.1%	男79.0% 女57.5%	男72.9% 女40.1%	男○ 女▲																
まちの保健室(健幸いわた21PII)	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防に留意し、7月から予約制で実施した。 2月末時点105回開催、参加者延べ数(成人1,068人・乳幼児368人) 出張まち保として、磐田市立図書館と杏林堂鳥之瀬店、市内企業で実施。 新型コロナウイルスの感染予防で外出を控える中、健康を支援する試みとしてWeb版まちの保健室をホームページ上に開設し4回更新した。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防に留意しながら予約制で実施する。 出張まちの保健室は、働き盛り世代へのアプローチとして企業に出向き、健診結果の分析や健康に関する意識調査を行う。また、その結果をもとに健康情報の啓発をする。 Web版まちの保健室を継続して実施する。 	がん検診受診率の増加(40~69歳) 子宮頸がん検診は20~69歳	(H27) 胃26.1% 大腸49% 肺49.9% 子宮50.2% 乳60.1%	胃26.3% 大腸39.4% 肺41.8% 子宮38.2% 乳49.6%	胃30% 大腸50% 肺50% 子宮51% 乳61%	胃○ 大腸▲ 肺▲ 子宮▲ 乳▲																
生活習慣病の重症化予防	令和2年度の取り組み	令和3年度の計画	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(法定報告)	24.3%	26.7%	22.4%	▲																
健康診断(参考資料3)	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上の方への人間ドック受診費用の助成と20~38歳の女性への乳がん検診(超音波検査)の助成を開始した。広報や健診の通知文に掲載したところ、反響が多くあった。(1月末時点受診者:後期人間ドック338名・乳がん検診受診者698名) 感染予防に留意して健診を実施した。 医療機関受診中断者や未受診者に対して、訪問や通知を発送し、医療機関への受診勧奨や生活習慣改善の支援を実施した。 毎年4月に全戸配布している「健康診断のご案内」を1月に配布し、令和3年度の健診予約を早めに行えるように変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら安心して健康診断を受けられるような体制を整えていく。 がん検診の受診率向上のため、受診期間の延長・受診しやすい体制(レディースデー・イブニング検診・土曜日検診)を引き続き実施していく。 重症化予防については、開業医や専門医との連携を推進していくとともに、訪問指導や受診勧奨を引き続き行っていく。 	特定健診受診率の増加(法定報告)	45.8%	47.2%	60.0%	○																
			特定保健指導実施率の増加(法定報告)	57.0%	72.4%	60.0%	◎																
			新規透析患者のうち原因疾患が糖尿病性腎症の者の減少	23人	23人	19人	-																
こころの健康	令和2年度の取り組み	令和3年度の計画	自殺者数の減少	男性14人 女性4人	男性14人 女性5人	減少	▲																
相談・啓発の強化(健幸いわた21PI7~19参照)	<ul style="list-style-type: none"> 3月(自殺対策強化月間)に合わせて、主に若い世代(母親世代)をターゲットに自殺予防(こころの健康)についての啓発資料を配布する。 毎年実施している、ゲートキーパー研修は新型コロナウイルス感染症を考慮し中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代に向け啓発資料等の配布を行っていく。 令和2年度に実施を見送ったゲートキーパー研修について、感染症対策を講じながら、順次再開していく。 自殺者に対する経年的なデータを分析し、有効なアプローチにつなげていく。 	令和2年度作成「メタボ予防からフレイル予防へ」より抜粋																				
生活習慣の改善	令和2年度の取り組み	令和3年度の計画	<p>磐田市の現状</p> <p>シニアになるとやせ傾向の割合が増えていきます</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>40~49歳</th> <th>50~64歳</th> <th>65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やせ傾向</td> <td>7%</td> <td>23%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>※目標とする体格</td> <td>64%</td> <td>51%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>肥満傾向</td> <td>29%</td> <td>26%</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「目標とする体格(BMI)」は年代によって異なります。 BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) ●18~49歳:18.5~24.9 ●50~64歳:20.0~24.9 ●65歳以上:21.5~24.9</p> <p>シニア世代になるにつれて骨折や骨粗鬆症の医療費が上がっています</p> <ul style="list-style-type: none"> ★75歳以上の骨粗鬆症の医療費がワースト1位!(令和元年度) ★75歳以上の骨粗鬆症の医療費は65歳~74歳の医療費の約3倍!(令和元年度) <p>【参考】介護(要支援認定)が必要になった主な要因の約5割は運動器の障害(円グラフ参照)</p> <p>※出典:令和元年度国民生活基礎調査</p> <p>いつまでもいきいきとした生活を送るため「フレイル」を予防しましょう!</p>						40~49歳	50~64歳	65歳以上	やせ傾向	7%	23%	40%	※目標とする体格	64%	51%	40%	肥満傾向	29%	26%	20%
	40~49歳	50~64歳	65歳以上																				
やせ傾向	7%	23%	40%																				
※目標とする体格	64%	51%	40%																				
肥満傾向	29%	26%	20%																				
ベジファースト食育啓発	<ul style="list-style-type: none"> 野菜から食べる習慣と野菜摂取量の向上を定着させるための取り組みを今年度から開始した。 「いただきます お箸を持ったら 野菜から」をスローガンに掲げ、広報での啓発と、11月から公立幼稚園、こども園における給食時のあいさつ運動を開始した。 出張まちの保健室として、ベジ・ファーストの普及を目的に市内企業の健康支援活動(健康経営)を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 公立幼稚園、こども園、保育園において給食時のあいさつを「いただきます お箸をもったら 野菜から」に全園統一し、幼児期からベジ・ファーストの定着を目指すとともに、広報やホームページを通じた啓発を引き続き実施していく。 ベジ・ファーストの普及を目指し、健康支援活動(健康経営)としての企業介入を継続し、事業所以外もスーパーなどの店舗にも介入を目指していく。 																					
たのしっぺい♪健幸チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジシート達成者へ市内企業から協賛いただいた豪華景品抽選会を3月に行う。(協賛企業 計15社) 参加者が取り組みやすくなるよう、達成ポイントを50ポイントから30ポイントへ見直しを行った。(1日1ポイント×30日=1か月) 令和2年度のカード交換実績は149名(暫定)。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業からの協賛を募りながら事業を継続実施していく。 若い世代の参加者が増えるよう、情報発信の方法を検討していく。 																					